

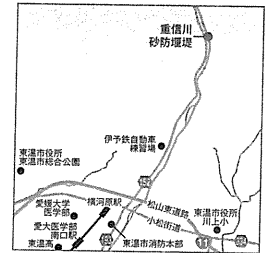
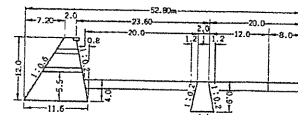
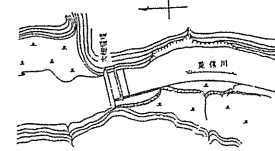
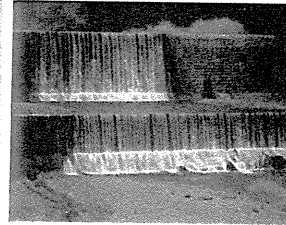
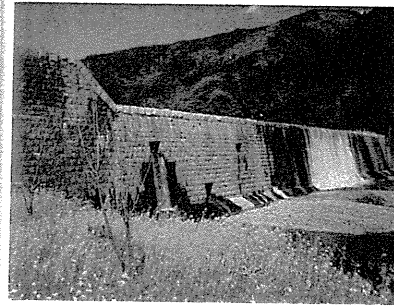
重信川砂防堰堤 (旧大畑堰堤) 登録有形文化財「除ケの堰堤」

所在地 東温市山之内 建設年 昭和10(1935)年

重信川の水源は、和泉砂岩層に属しており、地質はもろく、しかも地形が急峻なため崩壊しやすい。強雨や冬季の霜が降りるときは、山腹の崩壊が一層進んだ。そのため多量の土砂を流出して河床を埋め、下流沿岸の被害を招いた。

重信川砂防堰堤は、重信川本流の咽喉部に位置し、ここから下流は谷が開け、川は平地部に移るところである。

したがって下流部でおこなわれる河川工事の効果を十分なものとするため、流出土砂を阻止して流水路を一定に保つのに必要なのが砂防工事である。堰堤は、河川工事に先立って設置されることになった。(報告書P214、215参照)

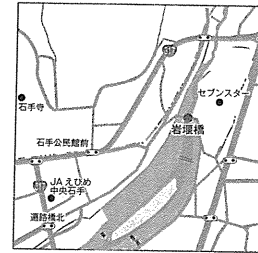


岩堰橋 (スチール橋)

所在地 松山市石手

竣工年 大正13(1924)年

(報告書P205参照)



宿野々橋

(コンクリートアーチ橋)

所在地 松山市宿野町

竣工年 昭和5(1930)年

(報告書P204参照)

